

プログラムノート

プログラム

ビゼー 「子供の遊び」 作品22より
・こま (即興曲)
・回転木馬 (スケルツォ)
・舞踏会 (ギャロップ)

フォーレ 組曲「ドリー」 作品56
1. 子守歌
2. ミ・ア・ウ Mi-A-OU
3. ドリーの庭
4. キティ・ワルツ
5. 優しさ
6. スペインの踊り

ショパン ノクターン1番 作品9-1
別れの曲 作品10-3
(米川雅子)
バラード1番 作品23
英雄ポロネーズ 作品53
(富田理子)

-----休憩-----

シューベルト 幻想曲 作品103

チャイコフスキー
バレエ組曲「くるみ割り人形」 作品71aより
・トレパック
・あし笛の踊り
・花のワルツ

ビゼー 「子供の遊び」

フランスの作曲家ビゼーは、声楽家の父とピアニストだった母の間に生まれた影響もあって音楽的な才能は幼少の頃から並外れて持っていました。これを見抜いた父は9歳の時にパリ音楽院に連れて行きました。音楽院の校長はその豊かな才能と卓抜したピアノ演奏に感銘を受け即座に入学を許可したそうです。特にピアニストとしての才能は卓越したものだっただけで、後にその演奏を聴いたリストも脱帽したそうです。その片鱗は今回の連弾曲の「こどもの遊び」にも表れています。普通は第1奏者(プリモ)と第2奏者(セコンド)の強弱は同一なものです。この曲はプリモの右手だけがフォルテだったりする繊細な表情がこの曲集にもあります。でもビゼーはそんなピアニストよりも作曲に強く心を惹かれて、特にオペラを作曲することを夢見ていました。それはやがて「カルメン」を作曲することで果たすのですが、その初演のわずか3ヶ月後、36歳7ヶ月の短すぎる生涯を閉じました。このオーケストラ曲にもなった「こどもの遊び」はその亡くなる4年前に作られました。全部で12曲ほどの曲集ですが今日は「こま」「回転木馬」「舞踏会」の3曲を演奏いたします。

フォーレ「ドリー」組曲

生粋のフランス人フォーレは、ドビュッシーの先輩にあたり、近代フランス音楽の始祖的存在です。教会のオルガニストを務めたりして不朽の名作「レクイエム」も作曲しました。この「ドリー」組曲はフォーレの妻マリーを通じて親しくなった銀行家の娘エンマ・バルダックの娘エレヌに毎年1曲ずつ贈った曲集です……というのがこれまで言われていたことでした。ところがこのエンマとフォーレは不倫の関係にあってこのエレヌ(通称ドリー)はフォーレの実の子供ということが分かりました。ドリーが1985年に92歳で亡くなるまでこの事実は伏せられていました。

曲は6曲で構成されています。

「子守歌」

この曲だけは先行して出版されました。ゆりかごに乗っているような気持ちになります。

「ミ・ア・ウ Mi-A-OU」

フランスでMiaouといえば猫の鳴き声のことですが、この曲は猫の曲ではなく、2歳のドリーが幼児言葉でお兄さんのことをメッシュ・アウルとたどどしく呼んだということをフォーレは音楽にしましたが、出版社が勘違いして、猫の鳴き声の題名になってしまったということでした。

「ドリーの庭」

ドリー3歳の誕生日に贈られました。

「キティ・ヴァルス」

これも出版社の勘違いです。正しくは「ケティ」これは飼っていた犬の名前。ヴァルスはフランス語でワルツの事です。4歳の誕生日に贈られました。

「優しさ」

「キティ」と同じ年に作曲されました。

「スペインの踊り」

前曲と打って変わって華やかなこの曲で締めくくられます。ちなみにこのドリーの母エンマは後になんとドビュッシーと結婚します。フォーレとドビュッシーは仲が悪かったそうですが、このあたりが原因かもしれません。

ショパンの4曲はソロ(独奏)でお届けします。

ショパンのことは説明はいらないと思います。

「ノクターン」

日本語で夜想曲のこと

「別れの曲」

練習曲集の中の1曲です。当然演奏には高度なものが要求されます。

「バラード」

自由な形の叙事詩です。ショパンが一層ドラマチックに昇華させました。